

環境保全行動  
自動車使用管理実施 報告提出書

2025年 7 月 8 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所  氏 名  (代表者名)	〒 063-8555
	札幌市西区二十四軒四条1丁目
	TOPPAN株式会社 北海道事業部
	執行役員事業部長 菅峨 隆

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 の規定により、環境保全行動  
第 2 3 条第 3 項 自動車使用管理実施  
報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
事業 の 規 模	従業員数	332		人	原油換算した	2251.5		k l
	使用床面積	23890		m <sup>2</sup>	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数		34	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	メタン		N <sub>2</sub> O		HFC	
		5100 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	
	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	PFC		SF <sub>6</sub>		NF <sub>3</sub>		
	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		
報告書の担当部署		担当部署名						
		担当者氏名						
		電話/FAX						
		電子メールアドレス						
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)				<input checked="" type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 3 項		
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)				<input type="checkbox"/> 第 1 項 <input checked="" type="checkbox"/> 第 2 項		
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり						
備 考								

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 ☐ のある欄には、該当する ☐ 内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書  
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

【報告期間】

2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
電力の消費量抑制を中心とした省エネルギー	1.35	1	1.28	5	○	1.5	▲ 11	×	1.27	6	○
	kW/千枚通	%	kW/千枚通	%		kW/千枚通	%		kW/千枚通	%	
生産系故紙を中心とした廃棄物の削減とリサイクル率の維持向上	12.42	1	11.91	4	○	12.14	2	○	11.5	7	○
	%	%	%	%		%	%		%	%	
化学物質の適正管理 インキ削減率の維持	9.7	0	9.89	▲ 2	×	10.59	▲ 9	×	11.59	▲ 19	×
	%	%	%	%		%	%		%	%	
インキドラム缶の適正管理	0		0	-	-	0	-	-	0	-	-
	件	%	件	%		件	%		件	%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

- 注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。  
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。  
○：目標削減率を達成  
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成  
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
電力の消費量抑制を中心とした省エネルギー	○	2023年度後半導入した省エネ機器の効果継続と2024年度中間期の冷温水機等の停止による運用改善と製造の間接時間・労損時間削減の施策効果
生産系故紙を中心とした廃棄物の削減とリサイクル率の維持向上	○	用紙低米坪化、製造の保全強化とチョコ停改善によるロス削減効果
化学物質の適正管理 インキ削減率の維持	×	生産量増によるインキ量の増加
インキドラム缶の適正管理	-	漏洩事故ゼロとISO14001による緊急事態訓練の実施